



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
コード番号 4093 URL <https://www.toho-ace.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 悦哉
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 藤本 俊弘 (TEL) 022-385-7692
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	25,609	2.9	1,443	40.5	1,652	43.2	980	51.3
2023年3月期第3四半期	24,899	12.9	1,027	44.1	1,153	45.9	647	36.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,084百万円(56.3%) 2023年3月期第3四半期 693百万円(54.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	28.20	—
2023年3月期第3四半期	18.66	—

(注) 当社は、2024年1月1日付けで普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	32,485	18,950	52.4
2023年3月期	31,364	18,329	52.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 17,033百万円 2023年3月期 16,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	8.00	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 当社は、2024年1月1日付けで普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の第2四半期末配当金25.00円は当該株式分割前の1株当たり配当金額を、2024年3月期(予想)の期末配当金8.00円は株式分割後の1株当たり配当金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2024年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金合計は、65.00円となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	5.6	1,900	24.8	2,100	24.7	1,200	21.4	34.52

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 当社は、2024年1月1日付けで普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、172円61銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 () 、 除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の : 有
会計処理の適用

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	35,020,000株	2023年3月期	35,020,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	259,865株	2023年3月期	285,010株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	34,747,570株	2023年3月期3Q	34,717,323株

(注) 当社は、2024年1月1日付けで普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は2024年2月13日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済活動の正常化が一段と進んだ一方で、ウクライナ情勢の長期化等による原材料・エネルギー価格の高騰や物価の上昇等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の売上高は256億9百万円と前年同四半期に比べ7億10百万円(2.9%)の増加となり、営業利益は14億43百万円と前年同四半期に比べ4億16百万円(40.5%)の増加、経常利益は16億52百万円と前年同四半期に比べ4億98百万円(43.2%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億80百万円と前年同四半期に比べ3億32百万円(51.3%)の増加となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

ガス関連事業

ガス関連事業の売上高は、148億32百万円と前年同四半期に比べ4億19百万円(2.9%)増加、営業利益は14億23百万円と前年同四半期に比べ4億62百万円(48.2%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、液化石油ガスは輸入価格の変動に伴い販売価格が下落しましたが、各種高圧ガスは調達コスト増加に伴う販売価格の改定が浸透したことに加え、窒素は発電所向けの出荷数量が増加し、売上高は増加しました。

利益面におきましては、電気料金の上昇に伴い製造コストが増加しましたが、液化石油ガスの輸入価格の変動に伴い仕入価格が下落したこと、各種高圧ガスの価格改定の浸透及び窒素の好調な出荷等により、営業利益は増加しました。

エスプーマ関連事業

エスプーマ関連事業の売上高は、13億82百万円と前年同四半期に比べ76百万円(5.8%)増加、営業利益は3億85百万円と前年同四半期に比べ2百万円(0.8%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、食品用ガスの販売価格改定の浸透及び食品関連器材の需要が増加したこと等により売上高は増加しました。営業利益は、食品用ガス容器の購入に伴う販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益の増加に伴い増加となりました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業の売上高は、79億53百万円と前年同四半期に比べ4億65百万円(6.2%)増加、営業利益は3億77百万円と前年同四半期に比べ86百万円(29.9%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、溶接材料は自動車関連向け、溶接切断器具は消耗品及び大型設備の需要が増加したこと等により売上高は増加しました。営業利益は、売上総利益の増加に伴い増加しました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業の売上高は、4億83百万円と前年同四半期に比べ4億16百万円(46.3%)減少、営業損益は前年同四半期に比べ43百万円減少し、11百万円の営業損失(前年同四半期は32百万円の営業利益)となりました。

当部門の状況といたしましては、自動車部品メーカーの国内外の設備投資需要が減少したこと等により売上高は減少し、営業損失となりました。

製氷機関連事業

製氷機関連事業の売上高は、7億81百万円と前年同四半期に比べ2億16百万円(38.4%)増加、営業利益は50百万円と前年同四半期に比べ18百万円(56.4%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、製氷・冷凍機械の大型物件の増加及び作業進捗が進んだことにより、売上高及び営業利益は増加しました。

その他

その他の売上高は、1億76百万円と前年同四半期に比べ51百万円(22.7%)減少、営業利益は33百万円と前年同四半期に比べ4百万円(13.0%)の減少となりました。

当部門の状況といたしましては、大型の医療用ガス配管工事の減少により、売上高及び営業利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、324億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億21百万円の増加となりました。この主な要因は、当社グループにおいて営業所移転に伴い建物及び構築物が増加(4億19百万円)したことに加え、自動運転技術を用いて物流改革を目指す企業に出資したこと等で投資有価証券が増加(5億80百万円)したことによるものであります。

負債は、135億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億円の増加となりました。この主な要因は、新規の資金調達による長期借入金の増加(1億45百万円)に加え、システムのリース増加により流動及び固定負債その他に含まれるリース債務が増加(1億62百万円)したこと等によるものであります。

純資産は、189億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億21百万円の増加となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる減少(4億52百万円)がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上(9億80百万円)したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、2023年11月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,537,503	7,894,776
受取手形、売掛金及び契約資産	6,087,466	6,425,778
電子記録債権	2,952,551	3,061,595
商品及び製品	1,174,386	1,286,338
仕掛品	10,128	38,906
原材料及び貯蔵品	128,327	139,193
その他	336,782	383,358
貸倒引当金	△17,306	△17,394
流動資産合計	19,209,839	19,212,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,308,902	3,728,156
機械装置及び運搬具（純額）	679,735	711,517
土地	5,618,455	5,559,013
その他（純額）	394,712	545,831
有形固定資産合計	10,001,805	10,544,518
無形固定資産	153,081	135,226
投資その他の資産		
投資有価証券	1,095,884	1,676,472
その他	935,337	969,156
貸倒引当金	△31,850	△52,757
投資その他の資産合計	1,999,371	2,592,872
固定資産合計	12,154,259	13,272,617
資産合計	31,364,098	32,485,169
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,565,544	5,191,912
電子記録債務	1,275,713	1,200,850
短期借入金	3,330,000	3,323,000
1年内返済予定の長期借入金	56,168	56,000
未払法人税等	339,232	231,262
賞与引当金	393,691	196,003
役員賞与引当金	18,740	—
その他	1,019,038	1,068,134
流動負債合計	10,998,127	11,267,163
固定負債		
長期借入金	800	146,000
役員退職慰労引当金	384,530	380,572
退職給付に係る負債	1,354,322	1,328,969
資産除去債務	31,529	31,658
その他	265,137	380,113
固定負債合計	2,036,320	2,267,314
負債合計	13,034,447	13,534,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	1,120,578	1,120,437
利益剰余金	13,165,149	13,692,936
自己株式	△73,153	△65,925
株主資本合計	16,473,575	17,008,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,321	25,179
その他の包括利益累計額合計	2,321	25,179
非支配株主持分	1,853,754	1,917,063
純資産合計	18,329,651	18,950,691
負債純資産合計	31,364,098	32,485,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	24,899,487	25,609,962
売上原価	17,527,080	17,452,091
売上総利益	7,372,406	8,157,870
販売費及び一般管理費	6,344,921	6,714,094
営業利益	1,027,485	1,443,776
営業外収益		
受取利息	675	680
受取配当金	12,577	18,444
受取賃貸料	95,558	102,986
持分法による投資利益	2,737	47,113
その他	81,161	124,977
営業外収益合計	192,710	294,202
営業外費用		
支払利息	23,630	23,329
賃貸費用	40,411	36,546
貸倒引当金繰入額	—	21,281
その他	2,763	4,711
営業外費用合計	66,805	85,870
経常利益	1,153,390	1,652,108
特別利益		
固定資産売却益	7,988	5,968
補助金収入	—	7,729
特別利益合計	7,988	13,697
特別損失		
固定資産除売却損	2,876	3,020
減損損失	893	69,312
補助金返還損	367	—
固定資産圧縮損	—	7,729
特別損失合計	4,137	80,062
税金等調整前四半期純利益	1,157,240	1,585,744
法人税等	430,775	525,017
四半期純利益	726,464	1,060,727
非支配株主に帰属する四半期純利益	78,690	80,677
親会社株主に帰属する四半期純利益	647,774	980,049

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	726,464	1,060,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,925	17,968
持分法適用会社に対する持分相当額	112	5,398
その他の包括利益合計	△32,812	23,366
四半期包括利益	693,651	1,084,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	621,782	1,002,907
非支配株主に係る四半期包括利益	71,869	81,185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ガス 関連事業	エスプーマ 関連事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	製氷機 関連事業	計
売上高						
一時点で移転される財	14,413,274	1,305,951	7,487,521	899,341	214,340	24,320,430
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	350,605	350,605
顧客との契約から生じる収益	14,413,274	1,305,951	7,487,521	899,341	564,946	24,671,036
外部顧客への売上高	14,413,274	1,305,951	7,487,521	899,341	564,946	24,671,036
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,413,274	1,305,951	7,487,521	899,341	564,946	24,671,036
セグメント利益	960,324	382,713	290,267	32,318	32,549	1,698,173

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
一時点で移転される財	182,235	24,502,666	—	24,502,666
一定の期間にわたり移転される財	46,215	396,820	—	396,820
顧客との契約から生じる収益	228,450	24,899,487	—	24,899,487
外部顧客への売上高	228,450	24,899,487	—	24,899,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	228,450	24,899,487	—	24,899,487
セグメント利益	38,156	1,736,330	△708,845	1,027,485

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△708,845千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	ガス 関連事業	エスプーマ 関連事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	製氷機 関連事業	計
売上高						
一時点で移転される財	14,832,568	1,382,322	7,953,148	483,338	198,915	24,850,293
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	582,973	582,973
顧客との契約から生じる収益	14,832,568	1,382,322	7,953,148	483,338	781,888	25,433,266
外部顧客への売上高	14,832,568	1,382,322	7,953,148	483,338	781,888	25,433,266
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,832,568	1,382,322	7,953,148	483,338	781,888	25,433,266
セグメント利益又は損失(△)	1,423,200	385,587	377,101	△11,103	50,915	2,225,700

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
一時点で移転される財	176,695	25,026,989	—	25,026,989
一定の期間にわたり移転される財	—	582,973	—	582,973
顧客との契約から生じる収益	176,695	25,609,962	—	25,609,962
外部顧客への売上高	176,695	25,609,962	—	25,609,962
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	176,695	25,609,962	—	25,609,962
セグメント利益又は損失(△)	33,189	2,258,889	△815,113	1,443,776

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△815,113千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「ガス関連事業」に含まれていた「エスプーマ関連事業」について独立区分し、報告セグメントとしております。この変更は、成長分野に位置付けている「エスプーマ関連事業」について、2023年6月に行った組織改編を契機として、「ガス関連事業」から分離し当該事業を単独で意思決定・業績評価を行うこととしたためであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

(株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年11月13日開催の取締役会決議に基づき、2024年1月1日付けで株式分割を行っております。

(1) 株式分割の目的

株式分割を行い、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性向上を図ることを目的としています。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2023年12月31日（日曜日）（同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質は2023年12月29日（金曜日））を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき5株の割合をもって分割いたしました。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	7,004,000株
今回の分割により増加する株式数	28,016,000株
株式分割後の発行済株式総数	35,020,000株
株式分割後の発行可能株式総数	80,000,000株

③分割の日程

基準日公告日	2023年12月16日（土曜日）
基準日	2023年12月31日（日曜日）
効力発生日	2024年1月1日（月曜日）

④1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

①定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づく取締役会決議により、2024年1月1日（月曜日）をもって、当社定款の一部を以下のとおり変更いたしました。

②定款変更の内容

(下線は変更部分)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は <u>1,600万</u> 株とする。	(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は <u>8,000万</u> 株とする。

③定款変更の日程

取締役会決議日	2023年11月13日（月曜日）
効力発生日	2024年1月1日（月曜日）